

9/10(日)

11(月)

12(火)

13(水)

14(木)

15(金)

16(土)名月観賞のタベ

おかげいち

17(日)

18(月)敬老の日

19(火)

20(水)動物愛護週間(～26日)

21(木)秋の交通安全市民運動(～30日)

22(金)

23(土)秋分の日

相生墓園参拝バス運行

24(日)親子ふれあい地引綱

25(月)

26(火)

27(水)

28(木)

29(金)笠岡市写真展(～10月1日)

30(土)消防写生大会

芙蓉の花フェア

10/1(日)かさおか健康福祉まつり

笠岡ふれあい空港 遊覧飛行

赤い羽根共同募金

2(月)

3(火)

4(水)

5(木)

6(金)

7(土)国際BMX選手権日本大会(～8日)

8(日)

9(月)体育の日

瞳輝いて



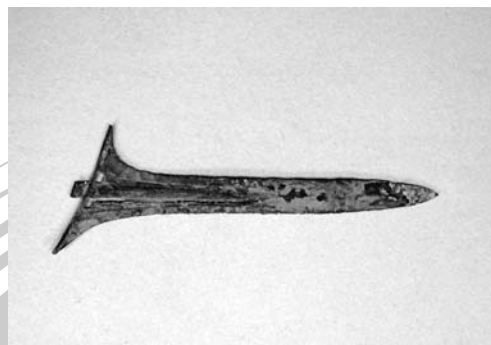
はじめまして…カブトガニキッズ で～す！

地域スポーツの振興と健康で明るく豊かな生活の実現に向けて、5月に開設された笠岡総合スポーツクラブでは、市民体育センターを拠点に、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるよう、各種スポーツ教室やイベントを開いています。

今月紹介する「カブトガニキッズ」は、6月にスタートしたチアダンス教室に通う生徒たちのチームです。3歳から小学6年生まで60人の女の子たちは、日本チアダンス協会の普及スタッフ高橋亜紀子さんの指導を受け、元気いっぱい躍動感あふれる演技を練習しています。

8月13日には、神戸市で開かれた「第2回関西チアダンス大会」に出場し、カラフルなボンボンを使った演技を披露し、初のステージを見事に飾りました。演技が終わってからは国内トップチームのレッスンを受けたり、他チームの選手との交流を深めたり、高いレベルの技を、しっかりと瞳に焼き付けてきました。

銅戈は弥生時代の武器形青銅器です。昭和五十七(一九八二)年、笠岡湾干拓地内で暗渠排水用の溝を重機にて掘削していたところ、偶然発見されました。出土した場所



どうか
銅戈

市指定重要文化財

所は現在では陸地となっていますが、干拓以前は海中であったところだ。なぜこのような場所から出土したのか、詳しいことは謎ですが、儀式のために、あえて海中に投げ入れた可能性も考えられます。

この銅戈は、全体が青サビにおおわれているものの、ほぼ完全な形を残しており、全長約三五cm、根元に開いた二つの穴にひもを通して柄にくくりつけるようになっています。その形状から、有樋鉄戈(ゆうひてつが)に似せてつくられた鉄戈形銅戈といわれています。

戈はもともと中国古代に用いられた武器の一種で、長い柄の先端近くに直交して刃を取り付けて、鳶口(とびくち)のように使いました。日本では、銅戈は銅剣・銅矛などと同じく実戦に使うのではなく、儀式のための道具として使われるようになりました。銅戈は九州や大阪湾沿岸で多く発見されていますが中国地方では少なく、特に岡山県下で見つかった例はわずかで貴重なものなのです。

歴史を訪ねて

笠岡市の文化財